

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

<b>江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録</b>	
開催日時	平成28年10月25日（火）13時30分～15時30分
開催場所	江田島市役所 本庁 4階会議室
出席者	<p>■有識者会議委員（敬称略 所属団体については就任時の状況）</p> <p>船越 伸二 厚生労働省広島労働局呉公共職業安定所            寺崎 雅浩 広島県健康福祉局子育て・少子化対策課            上迫 滋 広島県CCMO（県政コミュニケーション・マーケティング総括監）            富田 美保 江田島市PTA連合会            加藤 真由美 江田島市認定こども園こよう保護者会            平田 圭司 江田島市商工会            市村 匠 公立大学法人県立広島大学（座長）            足立 真司 江田島市金融懇談会広島銀行</p> <p>■江田島市</p> <p>【事務局：企画部企画振興課】            畑河内 真 企画振興課 課長            末田 幸夫 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社エブリプラン】            木原 隆</p>
欠席者	<p>■有識者会議委員（敬称略 所属団体については就任時の状況）</p> <p>濱中 繁美 江田島市自治会連合会            清水 昭彦 田舎暮らしを楽しもう会            村上 浩司 江田島市農業委員会            久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会            伊藤 富美雄 江田島市観光協会</p>
傍聴者	—
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会            2 座長あいさつ            3 説明・報告事項            江田島市総合計画及び総合戦略に係るこれまでの取組と成果等について            【資料1～資料4】            4 協議事項            総合戦略等に基づく施策の検証について【資料5，資料6】            5 その他            6 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1：江田島市の現状と方向性（市総合計画・総合戦略）            資料2：平成28年度市民満足度調査の結果について            資料3：分野ごとの取組施策及び市民満足度の向上のための所管課の取組方針案            資料4：総合戦略の具体的施策と現時点における成果と見直し方針案            資料5：江田島市総合計画・総合戦略に係る市民ワークショップについて            資料6：総合戦略等に基づく施策の検証に関する論点            参考：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱</p>

## 会 議 記 録

事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。      会議の開催に先立ちまして、事務局からお知らせします。      本日の会議資料をご確認ください。資料の最初に次第、委員名簿、資料1から資料6まで、最後に参考資料として会議設置要綱を付けています。不足等がございましたらお申し付けください。      また、本日は、議事録を作成するために会議を録音いたしますので、ご了承ください。      それでは、ただいまから、江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議第4回会議を開催します。      次第に沿って進めてまいります。      始めに、市村座長からごあいさつをお願いします。</p>
座長	<p><b>2 座長あいさつ</b></p> <p>皆さまには、去年は3回にわたり協議をしていただきまして、おかげをもちまして、5年間の総合戦略を策定することができました。本当にありがとうございます。      実は、私は、他の市町の会議も参加させていただいておりまして、いろんなところでいろんなことを言っていました。約1年経ってみて、何を感じたかということ、今まで止まっていたものが動き出したな、ということが1つ感じています。      もう1つが、その動き方が、それぞれの市町において地域性があるのでしょうか、その動き方がまったく異なっていると思います。例えば、今まで大学と連携が非常にうまくいっていた市町がありますが、今まで県大だけと一緒にやっていたのが、今度は別の大学とも一緒にやりたいという形がありまして、うちの大学以外のほうに触手を伸ばしている市町もあるように伺っています。そういった形で、いろいろな、こちらが想定していたもの以外の動きも実際には生まれていると思いますが、私はそれを静観しておりまして、例えそれが今までの連携というものと違う方向にいったとしても、新しいことを模索していることであって、その中でいいものも見つかるだろうし、逆に悪いものも見つかるだろうと。その結果、もう一度見直す時期が必ず来ると考えておりまして、そういう見直しというものが、1年経ってみてやるということが非常に重要で、この会議がそれに当たると考えています。      次第の中には、これまでの取組と成果等についてのご報告があるように伺っています。それに関して、また皆さまと協議させていただきたいと思います。      今日長い時間かかるとは思いますが、よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。      本日は、今年度初めての開催です。委員の皆さまにおかれましては所属の異動によってメンバーが交代になっている委員さんもいらっしゃると思いますので、あらためまして一言ずつ自己紹介をお願いします。</p>
各委員	<p>※富田委員から、自己紹介（P1の「出席者－有識者会議委員」を参照）。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。      本日は、この会議の委員のうち、濱中委員、清水委員、村上委員、久保河内委員、伊藤委員からご欠席のご連絡をいただいています。      なお、申し遅れましたが、私は、事務局の江田島市企画振興課長の畑河内です。よろしく願いいたします。      同じく企画振興課の末田です。よろしく願いいたします。      エブリプランの木原です。よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p><b>3 説明・報告事項</b></p> <p>それでは、次第3、説明・報告事項に移ります。      会議の進行は、当会議の設置要綱の規定により、市村座長に議長をお願いします。</p>
座長	<p>ここからの議事進行は、私が務めます。      それでは、次第3、説明・報告事項として、江田島市総合計画及び総合戦略に係るこれまでの取組と成果等について、事務局からご報告をお願いします。</p>
事務局	<p><b>江田島市総合計画及び総合戦略に係るこれまでの取組と成果等について</b></p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

事務局 (続き)	<p><b>【資料1～資料4】</b> ※内容は資料1～資料4のとおり</p>
座長	<p>ありがとうございました。 資料が多く、考えるのがあちこちについて大変かと思いますが、今の報告・説明について質問があればお願いします。できる限り、皆さんにご発言していただきたいと思います。</p>
委員	<p>資料3について、総括的に載せていらっしゃると思いますが、私の立場的にも、ここは非常に青いということが一番この中で身に染みているところです。実際には、いろいろなアンケートをしていただいていると思いますが、実際のアンケートよりさらに深刻な状況であるのではないかと、実感的にも体感的にも感じています。アンケートに聞かれたことを皆さん答えていらっしゃると思いますので、数字とのマッチングの問題はあると思いますが、客観的に見ても、青い部分は、先ほどの説明の中でも重要度が非常に高い部分と満足度が低い部分ということで、重く受け止めなければいけないと思います。</p>
座長	<p>他にございませんか。</p>
委員	<p>質問ですが、資料4のK P Iの評価の3ページのところに、定住促進策を利用した移住者数が30人ペースであれば目標を達成する予定という説明でしたが、そもそも定住促進策を利用するしないにかかわらず、移住者数は、今年間何人ぐらいいらっしゃいますか。あくまで全体の移住者数の中で、定住促進策を利用した方がこの人数という理解でいいですか。</p>
事務局	<p>17人は、あくまでも市のいろんな施策を使われて市で把握できた人数です。年間の転入転出でいうと、社会増減ですが、転入は950人近くの方が転入されています。出て行かれる方が1,300人近くいらっしゃいますので、社会増減で言えばマイナスですが、市の施策を使う、使わないにかかわらずということでは950人ぐらいが入っていらっしゃいます。</p>
委員	<p>分かりました。差引でいうとマイナス350人ぐらい流れているということですので、江田島だけ人口を増やすのは難しいと思いますが、17人というインパクトと、350人というマイナスとを比べたときに、もう少しここを、いろんな手があると思いますが、上げていかなければいけないかなと。 一説に、自治体が存続可能で今後あり続けるための目安として、人口の1%を毎年取り戻していければという試算もあるので、大きな中長期的な目標から逆算して、流入、広島県全体がまだ流出超過なので、とりあえずは差の350を埋めていく手を打てたらいいのかなと。それも、今回、私が4月から来ている大きなテーマですが、17人だけ見ているとそこしか見えませんが、全体の出入りの中でどれくらいの数を埋めていかなければいけないかということと紐付けて考えていけたらいいと思います。すごく大事な数字だと思います。以上です。</p>
委員	<p>質問ですが、資料4の9ページのがん検診の受診率がかなり下がっているということですが、受診体制は年々整備しているという、その整備の内容、回数が増えているとか。そこら辺と、要因が夏季に暑かったからというだけではないのではないかと思います。実際に集団検診へ、どのような形で参加されているのかをお聞きできればと。 15ページのバスの利用者数が極端に1年で落ちています。これは、バスの本数がかなり減っているのかどうかをお聞かせください。 それから、5ページの合計特殊出生率は毎年出るのではないですか。</p>
事務局	<p>がん検診について、細かいところまで把握しておりませんが、やり方としてはそれなりに工夫しておりまして、各地域別に日にちをずらすとか、そういったことで受けやすいように所管課はやってはいます。考えてはいますが、絶対的に啓発の部分が足りないのかなと。いろいろ何日にかん検診がありますというお知らせをしているのですが、トータルとして、なぜ検診が必要なかということもやっていくべきなのかなと思っています。 バスの利用者数ですが、便数は変わっていません。同じ中で、若干、利用者数が大きく減ったということで、計算間違いがあつたりするかもしれないのですが、実際に江田島市内の人口が減っている中で、減り幅がどうかというのはありますが、傾向としては、乗客数が減るとするのはそうなのかなと感じています。市民さんだけではなくて、市外</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

事務局 (続き)	から来られた方もという形にしていって、まだ70万人の現状維持は確保していきたいと考えています。
委員	1年で3割減は、非常に大きい数字だと思います。そこが、さっきのがん検診ではないですが、日にちだけを指定しても、実際にどうやって行くかという問題のときに、その地域の人に、例えば、バスを出して検診に行くという形にすれば、受診率も上がるという取組も。バス自体が減って行けなくなったのかな、と思いました。
委員	<p>まちの活性化に若年者、若い方の力は大きいと思いますが、この資料で教えていただきたいのは、資料4に、修学旅行生の体験受入が4ページにあります。体験型修学旅行はどういった体験ですか。</p> <p>もう1つ、大柿高校の定員充足率がなかなか達成できないというところですが、人口が少なくなっていることもあると思いますが、江田島市以外から来ていらっしゃる方もいるのか教えてください。</p>
事務局	<p>体験型修学旅行は、基本的に修学旅行で来られて各家庭に泊まる、普通の家に泊まって、その家に畑があったら一緒に農作業をしてみるとか、無ければ海へ行って浜から釣りをするとか、そういった各家庭で5人程度の人数を受け入れて、いろいろ家ごとに体験するのが体験型修学旅行です。</p> <p>大柿高校の定員充足率は、人口が減っているということで高校生になる方自体が減っているというのはありますが、市外から来られる方も何人かいます。広島市から来てバスに乗り換えて通う高校生も何人かおられます。そういったものもありますが、とはいえ、大柿高校の地元進学率が15%を切っています。毎年、120人ぐらいは中学生の方が高校に進学されるのですが、その中の一部の方しか大柿高校に行かれないという現状があります。高校の魅力を高めていくのが、存続させるためにはどうしても必要だと考えているところです。</p>
委員	<p>今月来たばかりですので、まだ具体的に地元の方との接し方が足りないというか、動きが見えていないので、具体的なことまでは言えないのですが、不思議なご縁でして、第1回から第3回の会議を実は後ろで聞いていたというのがありますので、なんとなく置かれている状況は分かっているつもりでして、いくつか意見と感想を述べさせていただくと、定住促進策を利用して移住してきた数の出し方、実際の人口がどうなっているかという分析をするに当たって、総合戦略を作られるときには出ていましたが、人口がこうなりました、うち、出生・死亡の自然増減がいくらで、流出・流入の社会増減がいくらという分析の数字は、きちんと出されたほうが良いと思います。印象がどうというのはあるでしょうが、しっかり実態を把握する上で必要ではないかと思います。これに載せるKPIは、ある程度の目標であって、それなりに達成できる数字にしなればいけない部分もあるでしょうから、そこはお任せするとしても、数字はそこを示すべきではないかと思います。</p> <p>もう一点、仕事がわれわれも絡むところですが、資料1の2枚目が総合戦略の重点プロジェクト関係の新規事業についてとなっています。これが、今年度の予算取りできた事業だと思います。一方で、資料3の1枚目が、現段階で企画振興課さんが考えておられる来年度予算取りに向けた取組方針の案だと思います。我々は、一生懸命、直接的もしくは間接的に支援や協力をしようとしたときに、もう決まっている28年度予算の事業と、これから予算取りしようとしている29年度の事業案の切り分けが、われわれ民間とか外から見ても分かりにくいかなと。</p> <p>そちら的には、予算取りした分は、基本的に事業課さんがやっていて、予算取りしようとしているものは企画振興課さんが考えられて、もしくは各事業課さんに挙げさせて、そんな感じでフィードバックしながら庁内で考えているということだと思いますが、そこらをもう少し具体的に、6次産業化やブランディングという、ここにいるメンバーは分かるのだと思いますが、農業の何を、水産業の何をという形で、具体的な農産品やそれを示して、こんな感じでブランディングしていこうとしているかという形で示すようにしていただくと、協力する民間の側としても、いろいろとつきやすい、入りやすい形になってくるように感じました。自分が今後、なんらかの形で関わっていくために、自分にも言い聞かせていますが、役所さんの公平性があるのもあまり特定のものの、特定の業者、示しにくい部分もあるでしょうが、なんらかの形で分かるようにしていただきたい。会議資料にするかしないかも、そちらの流れもあると思いますが、そ</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

<p>委員 (続き)</p>	<p>こちらをお願いしたいと思います。</p> <p>平成28年度事業の中の体験型スポーツイベントの実施等に入るのか分かりませんが、役所の方の協力ももっとも取り付けてほしいというお願いの意味も込めて言いますが、実は、2週間ぐらい前に市の企画振興課さんが企画した1日観光イベントがあって、日帰りの観光ツアーで午前中芋掘りをして、昼からカヤック体験をするという1日ツアーを企画振興課さんの企画で実施しましたが、いろんな事情で、みかんマラソンと重なった事情もあって、30人の定員に対して15人ぐらいしか集まらなかったということがありました。それはそれでいいのですが、そのときに広島銀行も含めた金融懇談会の中で頼まれたので、金融懇談会で、具体的にいうと、私は各銀行をお願いして回って、金融懇談会で銀行の社員が9人ぐらい集まりまして、残り役所の職員の方が4人来られたのですが、その4人のうち、4人というのは、所管課の方という状況だったので、ツアーに参加することが目的ではないですが、ちょっと残念でした。もっと言うと、企画振興課さんが一生懸命頑張っているのに、役所の方の協力がなかなか得られていないようにも見たので、そこら大変でしょうが、頑張って行政の方の協力ももっと増やしてほしいし、それを取り付けるのもわれわれも動くので、そういうふうには持っていけないと思いますので、一緒に頑張りましょうという決意表明です。</p>
<p>委員</p>	<p>私は、1月にこの子を出産しましたが、そのときに交通費の援助はなかったので、これはできて助かるなと思いました。乳幼児医療も結構お金がかかるので、すぐ子どもが風邪をひいたりするので、そういうのは良かったなと思います。</p> <p>関係ないのですが、保育所のほうで、遊具が今壊れていて、すいばりが立って、子どもがよくケガをして帰ってくるので、先生に直してほしいという、市ではお金がないので直せないと言うので、それではうちらが子どもを安心して預けられないので、保護者で土日にペンキを塗ったり削ったりして直しました。</p> <p>10年後の取組もいいですが、現状ももうちょっと、お金がないのは分かりますが、整備をして安心して子どもを預けられるようにしてくれたらいいなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>今ずっとお聞きして、先ほど委員さんが言われていた健康診断、私はがん検診をまだやっていなくて、ぐさってきたのですが、4月に広報で来ていても気づかない、4月のバタバタしている時期に広報が来て気づかなくて、検診を6月ぐらいに受けようと思うと締切があって、結局（広島）市内で。女性なので子宮がん検診とか乳がん検診という、市内でも受けられるけど、呉や広島のほうで受けるというのが出てくることがあったので。時期もあるのでしょうか、検診を受ける年寄りの方に聞くと、病院でやればいいのか、集団検診はいっぱいいて面倒くさいとか、多分、場所が若干減っているように思ったのです。箇所が今年減っているように思いました。</p> <p>それから、今日の昼前に、修学旅行で来ておられる子どもさんが海で釣りをされに来ているのを見たのですが、江田島でも呉湾のほうですが、東北方面とかの子どもさん達が来て、とても喜んで、また来たいですと言って帰ると、受入のおうちの方が喜んで話されているのですが、じゃあ、また大人になって来られるかという、難しい面があるのかなと。</p> <p>バスですが、利用者が減っているのは、たぶん、うちもそうですが、利用する時間帯にバスがないとか、自衛隊さんなんかだと、バスが混んでいて乗れないとか。健康のためというのと、金額の関係もあるでしょうが、歩いて行かれる方が多いのを見ます。</p> <p>高校生が大柿高校に進学しないのは、大柿高校へ行っても普通科で何を勉強したらいいか分からないという子どもさんもいるのですが、今、高校3年生の女の子とアルバイトで一緒するのですが、就職先が…と言います。たぶん、就職先はあると思うのですが、先生に自分で探さないみたいなことを言われると聞いたので、そこら辺が普通科の学校なので、工業や商業みたいに専門的に就職を指導する先生、進学を指導する先生が不足しているのかなというのが大柿高校ではあります。ただ、すごく活動をされているのは見えました。感じています。</p> <p>観光に関しては、この前テレビ局が来ていたので、オリーブの店は人が多いというのは噂で聞いて、食べに行ってみたいなと思ったけど、2時間ぐらい待つという話が、今、島の中で噂になっているので、地元の人はいずれあられませんが、そういう観光があることはいいかなと。ものすごく自転車も増えてきています。整備も結構良くなっているのですが、船の便数とか、バスの便数も、交通も道路の整備も。</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

委員 (続き)	先ほど保育所の遊具のことを言われたけど、小学校も中学校も一緒だと思います。保護者がすごく頑張っているの、保護者で色を塗ったと言われたけど、それも交流としていいのかなとは思いました。
座長	<p>ありがとうございました。他にご意見はございませんか。</p> <p>いくつか皆さんのお話を伺っていて、例えば、さっきの芋掘り体験は、連携している大学等に広報すると、面白がって行く子がいるのではないかというのを思いました。</p> <p>大柿高校の話は、実はうちの大学でもよく言われることで、毎年目標を立てて、約100個書いて、それに対して毎年実績を出して、こういうことをやったと自己評価を作って、それに対して、県からこれは駄目だ、あれは駄目だと言われて、昨日も平成27年度の指摘に対する対策を僕の管轄する部分では出しました。そこまでいくのは大変かもしれませんが、そのようにやっている中で、うちの大学が何か特色があるものにしなければいけないというの、いろいろな観点から作っている状況です。細かいことは、大学なので、高校とは違うかもしれませんが、中にいる生徒さん、地域の人、他のところに対して、何かあの学校は面白いとか、そういう特色が出てくるといいのではないかと思います。</p> <p>がん検診は、いろいろな理由があるにせよ、極端に数字が低いのではないかと思います。これは、また別個の相談をさせていただくことになると思いますが、僕自身ががん検診受診率を上げるために総務省から研究費用をもらっています。その実証実験の場ということで、中山間地域を挙げているので、できれば江田島市さんと一緒に協力してやれたらいいのではないかと考えています。</p> <p>バスに関しては、うちの大学もプロジェクトがあって、予算はうちが持っているのですが、今、路線バスの時刻表や運賃はあれですが、バス停、時刻表に全部載っていません。そういった調査をうちの学生と一緒に始めています。まだ始めたばかりで基礎調査になると思いますが、オープンデータ化してみようと考えています。そういうものを使って、例えば、今日ここへ来るのもバスがないというのは、非常に大きな問題になっていると思うので、今後そういうデータを使って、船との連携、繋ぎ、そういったものを見直していただくとか、市内の人の利用者数をどうやって上げたらいいとか、市外の人、他から来る人が、バスに乗ろうと思ってもバスがないというのが一番困るといえるか、そういう状況なので、そういうところも含めて考えていければなど。</p> <p>僕は大学の教員なので、いくつかその観点、考えから言ったところではありますが、皆さんもそれぞれのお立場があって、いろいろなことを考えられていると思います。それを、ただ意見を、こうしたほうがいいと言ったのを言うだけではなくて、今後それを見守って、見張ってというか、そういうことを考えながら、もう1つは、市に対してやっていないのではないかとやるのでは、地方創生は実は駄目で、自分たちがどのようにそこに関わっていくかを考えて活性化していければと思います。</p> <p>4番目に協議事項がございまして、総合戦略等に基づく施策の検証についてということで、資料5と6について事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>4 協議事項</b>  <b>総合戦略等に基づく施策の検証について【資料5、資料6】</b>          ※内容は資料5、資料6のとおり</p>
座長	<p>ただいま説明がありました。</p> <p>資料6にある論点を踏まえた上で、皆さまのお考えについて、ご自由にご意見をいただく時間としたいと考えています。今言われたように、委員の皆さまの専門分野からの視点、あるいは一市民としての視点等から、これから市として注力すべき施策分野をどう考えるか、その分野において限られた財源の中でどのような施策を実施していくべきかについて、活発なご意見をお願いします。</p>
委員	<p>前段で青いところが多いと話をさせていただいた部分に関わる立場としての意見を述べさせていただくと、産業観光面の重要度の度合いが高いのではないかとということ、うまくいっていないと思っていられる方が多いという結果だと思います。この議論は何年もやっていて、取り組まなければいけない、取り組む方向もある程度見えてつあると思いますが、結果が出ていないということで、その辺の問題点がかなりあると。すべてに絡んでいると思います。人口の問題もそうですし、観光の交流人口の増加もそ</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

<p>委員 (続き)</p>	<p>うですし、交通の便に関してもそうですし、あらゆるものにリンクしていて、それに対応していくため、何をすべきなのかという議論になろうかと思えます。総合戦略の中で話をさせていただきましたが、皆さんがそれぞれの立場で頑張っていると思えますが、具体的な施策を精密につくって、市だけではなくて関係団体が協力することによって、目的を遂行していくという状況にないと、成果として見えてこない。市民の方に感じていただくぐらいのレベルまで持っていかないと、いつまでたっても同じ状況だということです。</p> <p>このワークショップに書かれていることも何年も前から言われていることだと思います。別に目新しいものが出ていることはほとんどないので、感じるころは、大柿高校が非常に注目していただいている、大柿高校活性化協議会の中でも高校だけの問題ではなくて、就職の問題や労働人口の減少は、産業にとって非常に大きな問題で、いくらハローワークに募集をかけても、なかなか人が集まらない。社協さんのほうで、商工会の関係として無料の職業紹介所を設置させていただいて、なんとか労働力のアンマッチを防いでいくこと、また、定住をしていただく方に、たくさん仕事があるのだということをお示しさせていただいて、より定住しやすい環境をつくらせていただくということで、スタートさせていただいていると思えます。</p> <p>基本的には、すべてのことが複合的に精密に経済対策をつくって、これは国の経済対策ではなくて、江田島市の経済対策をつくって、関係各機関がすべて連携しながら、それに向かって目標の数値化、検証を常にしていながら単年度ごとに事業を立ち上げていくということになろうかと思えます。今年度に入っても、いろんな事業の取組としても、市が中心となっているいろいろな声掛けをしていただいて、漁業や農業、観光といったところで一同に会して議論を深めていただいている内容になってきています。これを議論で終わらせず、より具体策を持って、来年からこれに対して取り組んでいこう、ここに対して設備投資をしながら結果を求めていこうという度合いが出てくると市民の関心も深まっていきますし、より実感が得られるのではないかと。そうなるとうまい循環としては、労働力を確保するために移り住んでいただく、歳入の増加が見込めて、さまざまなことに取り組んでいけることに繋がるのではないかとということで、どこかが基点とならないと、なかなか変化が見られないということだと思います。</p> <p>もう一点は、時間がかからなくてもできることと思っていて、いろいろな取組をさせていただいている中でふるさと納税の話がいろんなところで出てくるのですが、江田島市の中でのふるさと納税の取組、当然、戦国時代のようになって、ふるさと納税のあり方自体が問題視される中で、やっているところとやっていないところが非常に割を食ってしまうという状況に、今置かれているのではないかと思っています。そういった中で、地域の物産もそうですし、販路拡大とか、いろんなPRを含めて、これももう少し力点を置いて取り組んでいかないと、なかなか江田島からお金が逆に出ていくという、その辺の検証も当然されていると思えますが、大事な財源だと思いますので、取り合いの議論より、多くのところから、江田島市外からその財源を確保していくという観点においても必要なのではないかと思えます。いろんな会議を通じて、江田島市内で決してあきらめない気持ちで、さまざまなことに取り組ませていただきたいと思いますので、さらにもう少し細かい議論ができる状況をたくさんつくっていただいて、施策を策定するところをぜひ、来年度、取り組んでいただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど委員さんが言われた意見に賛成で、我々も考え方としては銀行ですので、産業観光の部分が一番ではないかというのが。当たり前ですが、仕事があって、人が集まって、まちができるという順番の話でして、決してその他の部分をやらないというのではなくて、大柿高校をどうするかも大事ですし、海底送水管がもしそうなら、しなければいけないかもしれませんし、先ほどの委員さんがおっしゃったような鉄棒でケガするのは論外だと思うので、それは当然大事ですが、そうは言いますが、まずは産業観光がそういう意味でいくと大事なのかなと。まち・ひと・しごとのうち、仕事からという考えで賛成でございます。ただ思ったのは、先ほど委員さんが、こんなワークショップの話は昔からあるのだとおっしゃったのですが、私は来たばかりなので、逆にワークショップに市民の方が40人集まって、こんなにしっかり考えられているのだということは、逆に感心したというか、みんな考えているのだという意味でも安心もしました。</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

<p>委員</p>	<p>先ほど委員さんがおっしゃられたとおりで、具体的な基点をつくる、シンボルをつくるということでもあると思います。</p> <p>僕も、このワークショップに、一般の方が18人も参加して意見を言っているのは、いろんな熱が生まれている、いい動き出しなのではないかと思えます。ただ、落とし穴があって、資料6のところに書いてあるいろいろな意見の中で、集うことができる拠点をつくる話が出ていますが、だからといって、箱物から入ると、そこに落とし穴があると思えます。箱より、むしろ1日の魅力的な過ごし方のコンテンツといったものをいかにつくれるかが先にあって、そういう意味では、先ほどの芋掘り体験やカヤックみたいなものは、僕もその動きを応援している側の1人ですが、耕作放棄地をよみがえらせて、イモをつくって焼酎をつくっている若い人がいると、ただ人手が足りない、市がもっと応援して耕作放棄地を集めやすくすると同時に、そこを今度は企業の福利厚生や研修用の体験の場として提供して、そうすると広島市から定期的に家族を連れて通ってしてくれる企業の人、交流人口が増えることもありますし、そこに島ならではの海の体験みたいなものを掛け合わせていけば、子どももまた行きたいという関係性が生まれて、実は、イモの重量が今の倍増えれば、酒造メーカーが江田島に専用の醸造所をつくってもいいという話もあるので、そこまでいけば、そこにまた新しい産業や雇用が生まれる可能性も出てくる。ただ、今のステージは、まだ産みの苦しみに、初めてやってみて人が集まらなくて、でも、それで、じゃあ駄目じゃないかと責め合って終わると、それでおしまいですから、おっしゃるとおり基点をつくるチャンスが1つ生まれているので、ここにみんなで協力して、ここをなんとか成功させて、江田島の1つの新しい、企業ファームといえば江田島だよねと、確かに江田島は広島からも近くて小1時間で海を越えて週末に来られるという立地も活かしているし、島ならではのアクティビティも掛け合わせると、他じゃ体験できないものをうまくコンテンツとして提供しているよねと、しかも耕作放棄地の対策にもなっていると。</p> <p>こういうものを生み出していく中で、じゃあ、こういう施設があるともっといいねということで、箱が後からついてくるという話だと思うので、箱物先行にならないように、どういう体験コンテンツを江田島として打っていくかをしっかり考えていく必要があるかなと思います。</p> <p>そういう意味では、がんねも、ワークショップに来た若い人たちのグループの1つが積極的にあそこをよみがえらせようという動きがあって、彼らだけだと厳しい部分を、今、行政が仲立ちして、企業とも一緒にチームを組む動きになってきていますので、ここはどちらかというとグランピング、キャンプのゴージャスなのをあそこでできるような体験を提供する動きなので、これもうまくいけば、1つの大きいシンボル、基点になるでしょうし、そういう動きを、逆に昔から出ている話ですが、今までにない新しい動きが出ているところにいかに応援していくのか、何をやるかの話、箸の上げ下げを行政が、公共団体が口を出す必要はなくて、彼らがやりやすい、せっかく意思を持っている、動き出している彼らが動きやすい場、環境をどれだけ行政なり団体がつくっていくかが役割だと思うので、せっかく生まれかけている熱に水を掛けるようなことではなく、うまく燃料を提供して燃え上がらせていくような方向にサポートできればいいかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>少子化を考えたとき、若い人がいなければ、子育て支援をしようが、結婚支援をしようが、若い人がいないと少子化対策には繋がらないということなので、実際に今、江田島市にいらっしゃる若い人が出ていかないという、残っていただくため、例えば、高校、大学を出られても、すぐに戻ってもらうという話でいけば、大柿高校の話が先ほど委員さんからありましたように、地元におられて高校3年で卒業しようかと考えているときに、その先をちゃんとうまく繋いでいないという仕組み、こういうところからすぐできるのではないかという感じがします。</p> <p>今の若い人が、地元で魅力を持って働いて、働いた上で家庭を持ってというサイクルをつくっていかないと、少子化は断ち切ることはできないと思えます。そうした上で残ってこちらで家庭をつくれれば、子育てもすごく充実しているといったところであれば、それが20年後、30年後の江田島に繋がっていくと思えます。</p> <p>そういう意味では、産業とかが活性化しないと働く場所もないということですが、先ほどの話では、現在でもある程度、働く場所もあるということなので、そういうところ</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

委員 (続き)	のPRを若い人にも届けていく仕組みに取り組みたいと思います。
委員	<p>補足させていただきます。</p> <p>若い方の話を否定しているのではなくて、皆さんがこうやって何年も話が出ていることを未だに感じていらっしゃるということは、前へ進んでいないということが言いたかったわけで、当然、皆さんがこういう気持ちで江田島を良くしたいと、こうやったら江田島が良くなるという思いは、当然、我々も持っているわけですが、うまくいっていないという実感の意味で、できていない。すぐできることを一個一個着手して、創業支援をさせていただくとか、本当にすぐにできることに関して、応援させていただいているのですが、応援させていただく範囲が広くて、薄くなってしまいます。ですから、広い範囲での応援をさせていただくことで、特化していったりなかなか成果が出てこない。</p> <p>先ほどの芋掘りも非常にいい取組をされていますが、なかなか集中的に支援をさせていただくところまでいけないかなと。新たな産業としても大事なことですし、民泊も、この地域においてはほとんど設備投資費がかからなくて、実際の産業として成り立つぐらいの規模まで皆さんに大事に育てていただいていますので、その取組もしていかなければいけない。</p> <p>本当は、論点資料6に書かれていることですが、カキ小屋がなかったとか、ここに書かれていることを一つ一つ丁寧に実現させていただくことが大事なのだらうと思います。それを見ていただいて、江田島は頑張っているじゃないかと思っただけで、それが市民満足度にも繋がってくるし、江田島が面白そうだと興味を持っていただくことが、いろんなソーシャルネットワークで、ネット社会ですから、あらゆることがすぐ即時に江田島市外にも伝わりますので、その辺の取組も一緒に併せてさせていただいています。なかなか数字に表れてこない、この難しさはあると思います。</p> <p>総合的な経済対策と言うのは簡単ですが、それをどうやってつくっていくのか、専門的に意見を見出し、行政ができる部分、各種団体ができる部分、具体的にはどうなのか、長い時間議論をまたしていかなければいけないと思っていますが、やらないといけないと思っていますので、それを本当に私も住んでいる人間の1人として、とにかく決してあきらめない。最近、江田島市はよくなったね、と思っただけでなく、もっともって人口が減ってしまうような気がします。</p> <p>大柿高校さんも本当に頑張っていますので、就職率も非常に高い学校でして、就職のアンマッチの部分は市内に就職をしていただきにくい状況でして、就職率は非常に高い学校だと思っています。一つ一つやらせていただければと思います。すいばりが立つのはよくないですね。歳入を上げて、草ぼうぼうと言われますが、道路の整備に使えるお金も限りがあるということなので、市民の皆さんと知恵を絞って、協働のまちづくりの中で草刈りを熱心に行っている方もおられますし、行政のせいということだけではなくて、市民の1人1人が江田島市を良くしていこうという気持ちを持っていただければ、必ず良くなると思いますので、そういう導きをこういう会議を通じて、つくっていただければ一番ありがたいと思っています。</p>
委員	<p>おっしゃるとおりだと思います。</p> <p>先ほどの企業絡みでは、商工会もぜひ広島市や呉市の商工会にも働きかけていただいて、企業の取組としてどうですかというところを推進していただけるとありがたいです。こちらの委員さんにはすでにお声掛けいただいて、人数もお集めいただいているので、ぜひ広銀さんにも福利厚生をさせていただくべく、さらにひと押し、ふた押ししていただいて、そういう形で、何か一つ、絶対にこれを成功させるぞというところに力を注ぐことをやれると、それが他のいろんな別の動きにも水平展開していくかなと思います。</p> <p>僕も県として参加しているので、そっちの話をしますと、県がお金をかけてやろうとしていることをうまく江田島が利用していったほうが良いという話をしています。里山ウェブを昨年県がやっている、地方で何かやりたい東京の若者を呼び込むことをやっています。去年、江田島は手を挙げませんでした。今年は無理を言って手を挙げていただいたら、今度、広島の6つの市町が手を挙げているのですが、その中で江田島は1番人気で、江田島が1番いろいろ面白いことができそうだとということで、10名を超える首都圏の若い人たちが来て、これから江田島と何ができるだろうかを考えてくれ</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

<p>委員 (続き)</p>	<p>る。去年は、それで神石高原で学生のNPOが立ち上がって、首都圏で名物のこんにやくを使ったフルコースを食べるイベントをやって、それが学生NPOの組織になって、大阪でもやると。1円も市町は払っていませんが、彼らが自主的に動いてくれる縁が生まれているので、ぜひそういうところにも積極的にみんなに関わってほしいと思います。</p> <p>県は、来年に向けて、さとやま未来博をやろうとしています。県内3つ、廃校になった校舎をリノベーションして、活性化させようと、これも無理を言って手を挙げてもらって、沖保育園の廃校になったものが選ばれて、国立競技場の設計をされた隈研吾さんのチームが来て地元の人に意見を聞きながら、そこをもう一回、こども話題のスポットになれば観光の名所にもなる場所にできると思いますので、県がわざわざ県のお金を使ってやっていることなので、うまく江田島に引っ張り込んで、それをまた1つ活性化の基点にしていくことは、僕の役割の1つとしてやっていきたいと思っています。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
<p>座長</p>	<p>他にございませんか。 僕から質問させてください。 ワークショップが行われるとき、たいていこういうことをやると、いいところは何ですか、というリストアップがあると思いますが、それはありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回、そっちから入らなくて、総合計画をつくる時、最初にワークショップをやって、そのときに出たのは、自然環境とか海といったところが江田島市のいいところ、好きなところで出ましたが、今回はそこを飛ばして中身に入っています。</p>
<p>座長</p>	<p>いいところを言わないで、自分たちの悪いところばかり目立つのが普通だと思うので、そうすると、議論としてはまさに嫌だよねというところが目立ってしまう。逆に、いいところが、たぶん、おぼろげながらのところしかないと思いますが、それを具体化していったときに、自然というだけではなくて、カヌーとか芋掘りとか、いろんな言葉が出てくると思います。その単語を結びつけてみると、案外面白いことが皆さん考えられるのではないかとこのころにもあります。例えば、産業の市内の就職に関しても、企業の見学等をやっている、場合によってはナイトツアー、会社の工場見学をやるなんて、廿日市ですが、そういうことを言っていたところもあります。</p> <p>何かのきっかけ、タイミングがあってそれを結びつけていくと、案外、気づきがたくさん出てくるのではないかと思います。江田島市さんは、いろんな大学と協定を結んでいると思うので、例えば、うちの大学は駄目でしたが、COCプラス等では市大や広大等がたくさんいろいろな学生がいて、本来は観光のPRのために彼らは動くはずなのですが、聞くところによるとあまりというのが…。本来は、そういう学生がたくさんこういういろんなところに出かけて、体験をして、その感動や経験に基づいて、江田島に直接関係なかったとしても、なんらかの新しい発想が生まれてくる。巡り巡って、市に何か返ってくるというところがあるのではないかと思いますので、産業とか公共機関というだけではなくて、大学とか、そういうところにも働きかけるといいのではないかと思います。</p> <p>ちなみに、うちの大学では江田島はすごく有名です。なぜかという、ことある度に僕が何か言っていますので、どっちの産品を選ぶかというとき、やっぱり江田島がいいよねという話になるというような、共同というか、そういうやり方もあると思うので、そういう観点からもアプローチされるといいと思います。</p> <p>他にご意見はございませんか。ないようでしたら、以上で協議を終了します。</p> <p>次第5のその他について、事務局からございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>5 その他</b></p> <p>本日は、どうもありがとうございました。皆さんから本日いただいた意見は、傾向としてはなんとなく見えるものがあるような気がいたします。この意見については、取りまとめまして、市役所内で共有して、今年度の予算編成がまだ始まっていませんので、それぞれの施策を各部で考えていくに当たって、本日いただいたような意見やワークショップの意見を踏まえて具体化していくよう進めさせていただこうと思います。目標数値、施策内容等で、総合戦略の中身を変えるようなことがあれば、総合戦略改定にも活用していこうと考えています。こういった形で、本日のご意見を活用させていただきま</p>

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】

事務局 (続き)	す。 また、来年度以降も毎年検証会議は続けていこうと考えていますので、人が異動で替わることはあるかもしれませんが、引き続きよろしく申し上げます。 本日のお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。
座長	ありがとうございました。 委員の皆さまから、何かございますか。
委員	9日土曜日ですが、すぐ入れました、オリーブの（ファクトリー）。
委員	地元の方はピンときていないかもしれません。
委員	確かにいっぱいでしたが。
委員	ワークショップで出ているのは、地元の方が思っていることが、これにぶつかっているなど、ワークショップにも前から何回か参加させてもらっていて、友達が行ったというから聞いていたのですが、学校のことも書いてあって、ああと思ったのですが、資料6にまとめてあることが実現したら本当に、という地元の人たちも気持ちがあるので、できれば役所のほうで予算とかつくるときは、これを本当に参考に使っているのか、1つでもやっていただけたら。大学生とか自転車で来ているのが結構分かるのです。
座長	結構うちの学生がいます。
委員	サイクリングで来ないで、普通の自転車で、団体に皆さんよくしゃべっている。
座長	借りたり、レンタサイクルをしたりして、まちの中をいろいろ調べておいでというので、うちの大学で予算をつけて回っているというのはあります。他の大学はどうやっているかは分かりませんが。自分たちで来ようかといったとき、来ようとしたとき、若い子たちですので、何かしらの楽しめる場所がないと、やっぱりだんだん離れていくというところはありますね。男の子は、釣りに行きたいとか、そういうのもあったりします。いろいろな考え方があると思います。
委員	がんねも、久しぶりに聞いたなと思いました。芋掘りの話は、新聞に載っていたのがそうですか。
委員	そうです。芋掘り体験も中国新聞も取り上げてくれて話題になっているので、そういうときに、それをまた切り抜きを持って、あちこちに営業して回れるといいですね。
委員	今からだミカン狩りがけっこう言われますね。ミカンおいしいよねと。そういうことで江田島に来ていただけたら助かるのですが、なかなか…。組み合わせが悪かったですね。
委員	ミカン狩りだけだとしんどくても、何かといくつか組み合わせると、1日の過ごし方に。
委員	ミカンマラソンは多いですね。
委員	11月23日に、大柿の大君のオリーブファクトリーで、オリーブマルシェというお祭りがあります。また、ぜひそのときに来ていただいて。
委員	よく聞きますよ。呉の高校のお母さんたちからも。
委員	メディアにもよく載っていますから、江田島に行ってみたい動機の1つになっていただければ。おいしいものも食べて観光もして帰って楽しんでというのがセットになっていくのが理想的ですね。
委員	1万円のオリーブも、人によっては安いという人もいますので。
委員	あれも話題になって、買う買わないは関係なく、これが1万円かと思っただけでも話のネタになりますので、写真を撮ってFacebookに上げたりして。
座長	<b>6 閉会</b> この検証会議は来年度以降も継続するということですので、皆さまにおかれましては、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。 以上をもちまして、江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会します。 お疲れさまでした。ありがとうございました。（終了）

【平成28年10月25日：江田島市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第4回）要点録】